

学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学

北海道文教大学大学院 北海道文教大学附属幼稚園
北海道文教大学 明清高等学校



鶴岡学園創立70周年記念式典 並びに祝賀会盛大に挙行される。

北

北海道文教大学・北海道文
教大学明清高等学校・北
海道文教大学附属幼稚園
を運営する学校法人鶴岡

学園は2012(平成24)年学園創立
70周年を迎えました。学園創立記念日
である6月8日(金)、北海道文教大学
がある恵庭キャンパスにて鶴岡学園創
立70周年記念式典並びに祝賀会が盛
大に挙行されました。式典・祝賀会に
は来賓、海外協定校のゲスト、地元地
域住民、学園に係りのある招待客
403名が参列、学園教職員およそ
220名とともに学園の節目を盛大
に祝いました。

10時30分より本館大講堂で行われ
た記念式典式辞で鈴木武夫 鶴岡学
園理事長・北海道文教大学学長は、学
園が恵庭市に移転以来、着実に発展
し、地域の皆様に今日の姿をご披露で
きるの、恵庭市当局の関係者の皆
様、地元町内会をはじめとする市民の
皆様のご理解とご支援の賜と深く感
謝をのべるとともに、学園の歴史を振
り返り、現在を見つめ直し、未来へと歩
みを進める道標(みちしるべ)として誠
に意義深く、学園関係者一同慶びに堪
えないと述べられました。さらに学園創
設者の鶴岡新太郎・トシ夫妻の『清く
正しく 雄々しく進め』の学訓を心
に刻み、社会のニーズに応え、実学を重
視し国際社会に貢献する人材を育成。
地域社会と連携し地域の発展に寄与
すべきと式辞を述べました。

来賓の文部科学大臣代理の文部科
学省高等教育局私学参事官の牛尾則
文氏、元文化庁長官の佐々木正峰氏、
恵庭市市長の原田裕氏、日本私立大学
協会副会長・北海道支部長の森本正
夫氏、各氏には「伝統と実績の上に世
界に視野を広げた優れた人材の養成
を」と祝辞を頂き、今後とも未来を切り
開く人材を輩出する学園の発展を誓
いました。

式典では本年2月末に竣工した8
号館概要(5階建て、延べ3,300
㎡)が報告され、学生がくつろぎながら
学ぶ場として採光や庭園との一体感に
配慮し、多目的に活用できる学生専用
ラウンジは「学生第二主義」を理念とす
るキャンパスの具体的整備状況として
参加の皆さまに紹介されました。

引き続き12時20分より大学体育館
で行われた祝賀会では、能楽「胡蝶」が
観世流 須藤賢氏により披露され、海
外来賓をはじめ出席者の多くはユネス
コ世界無形文化遺産であり、日本固有
で最古の舞台芸術を興味深く鑑賞し
ました。さらに恵庭市民による勇壮な
恵庭岳太鼓、文教大学吹奏学部による
学園節目の時代を写した楽曲の演奏
も祝賀の会に華を添えました。北海道
文教大学通りと名付けられたJR恵
庭駅東口から大学に至る街路灯やキャ
ンパス内には70周年を記念する赤いバ
ナーが翻り、初夏の街並みやキャンパス
に彩(いろどり)を加えていました。

祝賀会

能楽「胡蝶」が観世流により披露、海外来賓をはじめ出席者の多くは、日本固有で最古の舞台芸術を鑑賞する。



鷹羽恵庭市議会議長



佐藤日本私立短期大学協会会長 目白大学長



観世流 須藤氏による能楽



恵庭岳太鼓



式辞を述べる鈴木理事長



左側から原田恵庭市長、佐々木元文化庁長官、平野文部科学大臣代理



左側から鈴木理事長、森本日本私立大学協会副理事長、伊藤本学園理事



来賓・海外協定校・地域住民・招待客・学園教職員およそ620名が学園の節目を祝う。

70周年記念式典



JR恵庭駅東口から大学に至る街路灯やキャンパス内には、赤いバナナが翻り、街並みやキャンパスに彩を加える。

キャンパス全体が 祝賀ムード



海外協定校8大学の代表者が参列



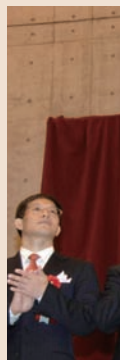
祝賀会会場



おそろいの新ユニフォームで

各国から協定校の 代表者が来学

6月8日の鶴岡学園創立70周年記念式典・記念祝賀会に中国、ロシア、オーストラリア、台湾、韓国、韓国の協定校から8大学の代表者が式典にご参列された。



式典に参列するために、6月6日にはロシアサハリン国立大学、中国・広東外語外贸大学南国商学院、6月7日にはオーストラリア・ザンクロス大学、台湾・静宜大学、韓国・湖南大学、中国からは西安外国語大学、湖南大学、吉林財經大学の代表者21名が続々と新千歳空港に到着した。

21名の代表者は6月8日に挙行された本学の創立70周年記念式典・記念祝賀会に全員が参列され、本学の鈴木理事長・学長の挨拶では翻訳された資料を見ながら熱心に聞き入り、その後の祝賀会において能楽・太鼓など日本の古典文化も十分に堪能されている様子であった。

6月9日は10時に宿泊先のホテルを出発して、北海道の郷土料理であるサッポロビール工場でジンギスカン鍋を楽しんだ。その後、それぞれの出身大学の留学生が案内役となって札幌市内で開催されているYOSAKOIソーラン祭りをご見学された。4時前に宿泊ホテルに戻り、各大学と個別に鈴木理事長・学長、神谷学部長など7名が出席して、相互の大学間交流についての懇談や記念品の交換が行われ親交を深めました。その後、理事長先生主催によるお別れの夕食会に協定校6校18名、本学側9名が出席し、今後も継続して交流を深めていくことなど約束しながら、名残惜しくも和やかな夕食会が開催された。

翌6月10日には全ての協定校の代表団が帰国の途につき、全てのスケジュールが成功裡に滞りなく終了することができ、協定校の代表者も大変満足されて帰国しました。

今回の協定校代表団の式典参列に当たっては、事務局及び国際交流委員会が協力して綿密に打ち合わせを行い、本学のモットーである「おもてなしの心」で接遇できたと考えています。最後に関係者各位に紙面をお借りして心より感謝申し上げます。



「鶴岡学園 創立70周年史」 発刊される。

鶴岡学園創立70周年を機に、鶴岡学園創立70周年記念事業委員会と鶴岡学園創立70周年記念誌編纂委員会が設置されました。委員会が設置されたのは平成23(2011)年6月16日のことで、両委員会ともあまり余裕のない中準備をしてみました。

記念誌編纂委員会では8月には制作コンペティションを行い、9月末の委員会にて基本構想や全体の章立て執筆分担を決定しました。編集の基本構想として「不易流行(変えてはいけない精神と変えなくてはいけない方法)」と「人に歴史あり歴史に人あり」を掲げ、学園の歴史を整理し、現在の立地点を確認し、未来への展望を提示することを念願とすることが確認されました。

正味7か月の期間内で執筆編集することは菲才な私どもには難事業でありましたが、それを可能にしたのは短い執筆期間にもかかわらず早く原稿を引き受けて下さった学園内外の皆さまのご厚情と編集プレーンに恵まれたにほかありません。この場をお借りして関係各位に心から感謝申し上げます。

「百年を見据えて」

北海道文教大学未来展望(抜粋)

教育は百年の大計であるという大きな構えと、編集方針にある「現在の立地点を確認し、未来への展望を提示したいと念願する」という強い思いにより、鈴木学長理事長への取材を基に記念誌編纂委員会において文章化し編集したものです。

1 建学の精神は未来への挑戦

未来から吹いてくる時間の風に向かって若者は進んでいく。未来に広がる荒野を開拓し耕作するのは若者の生命力である。

本学園の学訓「清く 正しく 雄々しく 進め」は、創立以来本学園に学ぶ若者たちの未来を志向する姿勢への賛歌である。

であるからこそ私たちは立ち止まってはられない。百年を目指す学園の未来は、後世の若者たちに喜びをもってバトンタッチをする誇りある事業を推進することによって達成されなければならない。

私たちはここに希望を育てることにしたい。未来に生きる若者とは、年齢を指すのではなく希望を掲げ続ける精神を指すのだ。

2 人と社会に貢献する実学の追究

実学とは「実証性に裏づけられ、実際に役に立つ学問」と手短かに規定しておいでいいであろう。

世界で最初にできたヨーロッパの大学は、法律家や医師や神父を養成するための機

関であった。実学こそが大学の生命線であったといえる。本学の使命もこの延長線上にあることをしっかりと位置づけておきたい。本学の目指す学問は人と社会に貢献するものであり、本学の目指す人材育成は人と社会に具体的に貢献する存在でなくてはならないと考える。

人と社会に貢献することを通して、充実感と達成感を得られる人間こそ社会とともに成長する人間である。また、より一層社会に貢献できる分野を模索することは大学運営者の大きな責務でもある。

3 社会人基礎力を確実にする教養教育

経済産業省などが提唱する「社会人基礎力」によると、今後の社会の変化を踏まえて「コミュニケーション能力」「課題解決能力」「主体性」という三要素が重視されている。

変化し続ける未来社会を生きる若者に必要な基礎教養とは、広く世界を見据えると同時に地域の課題に積極的に取り組むことによつて高い見識を持ち、総合的な判断力を備えた人間性を涵養すること。つまり、芯の強い人間としての基礎力を鍛えることによつてもたらされる総合力としての「人間教養」である。

4 未来に生きる国際性の涵養

国際化は社会の構造や認識を大きく変

化させている。急速に進展する国際化の潮流の中で、個性的で多様な価値観の容認と異なる文化や価値観を可能な限り受容して、適切な場所に向きとんとんキャリアアップする時代になったのである。

本学はその開学の時点において、道内唯一の外国語単科大学としてスタートした利点を忘れてはならない。

学生の「国際性の涵養」の要件としては①国際コミュニケーション力、②国際理解力、③国際的創造力の3点である。

今後は、日常の語学教育の一層の充実とともに海外留学研修の機会を拡大することによって、学生及び教職員の国際性の涵養を促進する。

5 地域社会への貢献と連携

今後、さらに地域社会との連携を強化し地域に貢献する存在として評価されるためには次の観点が必要となる。

- ① 知識移転・教育研究情報の発信推進のための集約的組織体制の強化、
- ② 知的資源を地域に役立てるためのシステム化と技術指導方法とその具現化の拡充、
- ③ 地域自治体の政策立案や各種調査活動を双方向的に積極的に展開すること、
- ④ 開かれた大学として学生教職員一丸となり、地域社会との連携と協力体制の強化に努める意識改革、
- ⑤ 地域社会との連携や協働を通して得た成果を互いに正当に評価しあうことによつて互いの成長を確認すること、

6 国際水準の人材育成システムの確立

などであると思われる。

広く世界をみると、知識経済化・グローバル化の進展により、技術革新の担い手として価値の高まっている優秀な人材を国境を越えて求めることはすでに国家間の競争状態になっている。

今後とも留学生や外国人研究者の協働を推進するとともに、国際水準の人材育成システムの構築を強く意識しなければならぬと考える。それは日本人学生の未来の国際社会で活躍する状況作りの新しい視点ともなるだろう。

その第一歩はどの専門学科にあっても日本語を含む英語中国語の語学力であり、次にキャンパス自体が小さな世界として国際理解を深めることであり、そして到達点としてのライセンスや学位認定の国際水準化ということになるだろう。

7 学生満足度の高い大学作り

平成10(1998)年10月に大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革方策について」が出された。

ここでは「今後は、総体として教員の研究に重点を置く教員中心の大学から、多様な学生に対するきめ細かな教育指導に重点を置く学生中心の大学へと、視点の転換を図ることが重要である」とされた。

そして開学の翌年平成12(2000)年6月に文部科学省の報告書として「大学における学生生活の充実方策について」が出され、教員の意識改革のためのFD(ファカルティ・ディベロップメント)の重要性が強調された。

出発時点から「学生中心の大学作り」の

洗礼を浴びた本学は、古い概念にとらわれることは全くなく、「学生第一主義」で大学を整備してきた。この姿勢は学園の百年を見据える現在も変わらぬ姿勢であり続けることが本学の未来を確固たるものにする。

8 学園運営基盤の強化と充実

(1) 基本的な視点

これまで何度も繰り返ししてきたように①学生第一主義の運営、②国際水準の人材育成の教育システム、③地域社会貢献に資する開かれた大学作り、④常に改善改革を忘れない運営体制などを基本的な視点に据えて学園運営基盤を強化充実すべきである。

(2) 大学整備を加速する課題

①教育面↓「希望」と「人間力」を備えた人材を育てる教養教育の充実・社会で信頼される高度な力量を備えた職業人としての専門教育の確立。

②研究面↓独創性とチャレンジ精神に満ちた研究の推進・国際水準を意識した海外研修の推進。

③地域貢献↓一層の地域貢献と財政基盤の強化に資する学科の増設。

④事務組織の整備↓法人運営を支える戦略的な事務組織体制の確立・研修体制を確立し計画的な人材育成。

(3) 安定した財務の継続と情報の共有

①在籍学生数30000人体制を可能にして財務体質を強化する学科増設の計画と実施。

②学園方針を徹底する情報の共有体制の

強化と具現化体質を涵養する。

(4) 法人運営の強化

①常にさらさらされている厳しい大学競争に打ち勝つため、理事会のトップマネージメントのもとに、教職員の総員が課題と目的を共有して、その実現に取り組む。

②そのプロセスで互いに作り上げる能力と信頼こそが私たちの生きがいである。

③学園の将来が、学生諸君と教職員と同窓生の夢の結実であること。

◎まとめ

教育は「人間による人間のための未来の希望に架ける橋」を創る事業であります。

本学園が創立100年へ向けて着実に歩み続けるには、創立以来の理念を掲げ続けることです。

創立者は、「清く 正しく 雄々しく進め」の言葉を遺してくれました。ここから大いなる「豊かな未来を拓くチャレンジ精神」を学び掲げ続けましょう。

そして、創立70年の時点から未来を窺う私たちは、もう一歩具現化して「①学生第一主義、②地域貢献主義、③教財均衡主義」の三つの重点項目を学園の構成員全員が共有して進むことで、「教育研究事業の百年浪漫」の達成に向かうならば、道は大きく開けるものと確信します。

竣工した8号館は「学生第一主義」

本年2月末に竣工した8号館は鶴岡学園創立70周年事業の「環」として計画されたものですが、「学生第一主義」の理念を具現化した環境整備計画に基づくものであります。恵庭キャンパスの北東角に位置し、5階建て延べ3,300㎡



の建物で、1階は学生がくつろぎながら学ぶ場として採光や庭園との一体感に配慮した学生専用ラウンジとなっています。2階から4階は中教室5室、普通教室5室、ゼミ室4室、自習室1室が配置され、5階は多目的教室2室となつています。すでに4月から運用されており、学生の評判も良く運用の多面性が今後期待されます。



ロシア・サハリン国立総合大学 YOSAKOI

ソーランチーム来学

毎

年恒例となりつつあるロシア・サハリンYOSAKOIソーランチームが今年もYOSAKOIソーラン終了の翌日の6月11日に本学に国際交流を目的として来学されました。

本学とサハリン国立大学が学術交流協定を締結している関係でロシアのチームがYOSAKOIソーランに参加すると終了後の翌日に本学を訪問するようになって、3年目を迎えました。

12時に本学に到着し、すぐに会議室「阿寒」で、本学学長先生による歓迎の挨拶及びお土産が手渡され、ロシアチーム団長の感謝の挨拶があった。その後、場所を学生会館前広場に移して、本学の学生チーム約50名が歓迎の気持ちを込めて演舞し、サハリンのチームがロシアの民族舞踊を織り交ぜた踊りを披露しました。それぞれの個性あふれる演舞に、広場に集まった大勢の学生たちからも大きな拍手が巻き起こり、演舞の最後は、両



オープンキャンパススタッフ奮闘中!

に4回実施される北海道文教大学のオープンキャンパス。高校生や保護者の方にパンフレットだけでは伝えきれない大学の魅力を存分に体感してもらう機会として、毎回参加者数を増やしている本学が誇る大人気のイベントです。当日は、入試説明にはじまり各学科の紹介や模擬講義、学食体験や



2012年3月に行われたオープンキャンパスのスタッフたち。みんな元気いっぱいです!

キャンパス見学など盛りだくさんの内容です。そしてこのオープンキャンパスを盛り上げるのに欠かせないのが、当日お手伝いをしてくれる学生スタッフ達です。学科ごとに色分けされたお揃いのポロシャツを着て、元気いっばいに参加者をエスコートする頼もしい約50名の学生。毎回立候補を募って、自主的に協力してくれています。中には自分が高校生だった頃にオープンキャンパ

スに参加し、そこでの先輩の姿に憧れ、スタッフとして参加してくれる学生も少なくありません。当日は早朝から参加者を迎える準備をし、理学療法学科では先輩による実技体験を行ったり、健康栄養学科では先輩が作るランチを試食してもらったりと、学科ごとに魅力的な内容でおもてなしをしています。

オープンキャンパス終了後のアンケートには「皆さんの元気いっばいの挨拶に驚きました」「先輩方が親切で、私もこういう大学生になりたいと思いました」「文教大生のいきいきとした様子が見られ、大学の良さがより伝わってきました」等、たくさん言葉に学生スタッフは勇気づけられています。今年のオープンキャンパスは6月23日(土)、7月28日(土)、9月22日(土・祝)を予定しています。元気な学生スタッフが本年も教職員と一緒にお待ちしています! 残念ながら6月スタッフに選ばれなかった皆さん、次回は君の出番ですよ。



理学療法学科の先輩による実技体験風景。参加者も興味深々で話を聞いています。

外国語学部より発信!

BUN KYO

しゃべろぐ大盛況

昨

年春にリニューアルした本学ホームページ内で最近アクセスを急上昇させているページが「BUN KYOしゃべろぐ」です。ちょっと変わった名前このページ、実は2011年9月に外国語学部の魅力をもっと発信したい!という思いから始まった外国語学部の学生によるブログです。大学生活での楽しいトピックスや、頑張っている様子はパンフレットやホームページだけでは得られない、学生目線の最新情報です。大学祭や英語ミュージカルなど大学行事のことはもちろん、資格取得や検定など将来に向かって頑張る学生の様子が楽しく語られていて、見ているこちらまで元気になります。昨年は留学先から最新の状況を投稿してくれた学生もいて、まさに地球規模で情報発信を行っています。今後は今年4月に入学した新1年生が学校生活の様子をアップしてくれる予定です。ぜひご覧くださいね!



ここをクリック!しゃべろぐページに移行します。

に分けて、本学の授業を見学し、受講している学生とも交流を深めました。最後には来年度の再会を約束する友好の握手を交わして、午後3時に本学を後にしました。



チームの学生はもとより、会場に居合わせた学生もたくさん飛び入りで参加し、「よちよれ」の踊りで大いに盛り上がりました。

その後、両チームの学生は、食堂で昼食をとりながら楽しく懇談して、親睦を深めていました。食事の後は、サハリンチームを2つのグループに分けて、本学の授業を見学し、受講している学生とも交流を深めました。最後には来年度の再会を約束する友好の握手を交わして、午後3時に本学を後にしました。



体育祭

スポーツをすることにより、学年の垣根を越えて学生同士が交流する一を目的に5月26日校友会の主催による体育祭が本学体育館で行われ、前年を上回る300名の学生が集まりました。

午前は、大運動会ということで、大玉転がし・玉入れ・綱引き・リレーが実施され、午後からはドッジボールとバレーボールが行われました。



学生たちは、この日のために友達同士でチームを作って練習に取り組み、どの競技も、白熱した対戦が繰り広げられていました。また、珍プレー・好プレー等の活躍に対しても、大きな歓声と拍手が巻き起こり、学生同士が試合を盛り上げ、正に熱い一日となりました。

こうして、今年の体育祭も、全プログラム滞りなく終了しました。競技を通じて学年学科を超えての親睦が図れたと共に、仲間との団結がより一層深まったのではないかと思います。



新入生歓迎会

新入生歓迎会が4月21日(土)に行われ、370人を超える新入生が参加しました。例年、この企画は校友会が年度最初の校友会行事として前年度から時間をかけて立案しており、



今年度は委員長長の泉公幸さん(理学療法学科2年)が中心となって、「新入生同士や新入生と在校生が交流することで、これからの学校生活を共に楽しく送るための仲間作りのきっかけとなるよう企画し、新入生が仲良く、楽しくなるような歓迎会にする」をコンセプトとして開催されました。

当日は、文教大学に関するクイズを出題して大学についてより知ってもらうための企画や、始めて会った学生がグループとなりゲームに参加する企画を用意しました。新入生はこうした趣向をこらしたゲームに参加することで仲良くなるきっかけ作りをすることができたのではないのでしょうか。他にもサークル紹介、豪華賞品が用意された抽選会など、様々な企画が催されていました。サークル紹介では多くの団体が参加し、新入生は各団体のパフォーマンスを熱心に観ていました。特に抽選会は今年も歓迎会で一番の盛り上がりを見せ、賞品が当たった新入生は大きな歓声をあげ、心から嬉しそうな表情をしていました。食事は立食形式となりましたので、ゲームに参加しながら、たくさんの料理、ケーキ等のデザートを楽しんでいました。



この事業は、大学開学前の短期大学のときから続いており、平成22年には、毎年協力している黄金フラワールoadの花壇整備に対して、協会から会長感謝状が贈呈されました。大勢の学生さんや先生方が協力して植えたい色とりどりの花々は、通行する地域の方々の目を楽しませています。



当日は、晴天にも恵まれ、昨年を大幅に上回る350名以上の学生さんや先生方が参加し、マリーゴールドや緑葉ハゴアなど約2000株を200メートルに渡って3列に植栽しました。

恵庭市花いっぱい文化協会からの依頼により、黄金フラワールoadの植栽事業を、今年6月8日の学園創立70周年記念式典に際して皆様にもお楽しみいただけたらということで、例年より1ヵ月ほど早い5月23日に校友会が中心となって行いました。

黄金フラワールoadの植栽事業

就職力宣言。

二〇二三年三月卒業生の 就職活動のスタート

札幌ドームを会場に大手2社の情報会社主催による2月の合同企業説明会は、多くの学生にとって、本格的な就職活動のスタートになりました。二月七日六、二九〇名、八日七八五〇名の学生の参加でした。

地方の大学は、大学単位でバスを利用して参加したところもあります。本学では、両日の合同企業説明会を三年生後期十五回の就職講座の実際の体験場面と位置づけ、外国語学部、健康栄養学科の多くの学生が参加しました。参加企業数は、七日は二五八社、八日は一四〇社で道内に本社を置く企業等、多くの道内企業が、参加しました。

学生は、始めて、合同説明会に参加し、学外での初めての就職活動を体験することから、会場は、緊張感と熱気に包まれていました。二〇二一・三年前から大学生の就職状況の厳しさからか、以前にも増して、一人ひとりの学生の真剣な姿が見られました。本学学生は、参加企業の中で興味・関心のある企業を事前に選択し、優先順位を付けながら、希望の企業ブースを回り、企業の採用担当者の説明を聞いていました。

数多い企業や業界を広く知ることによって、職業の種類を広く理解し、その中で、改めて、自己の興味や適性に合った企業や職種を選択しようとの思いが強くなっ

たのではないかと思われます。それぞれの学科の就職活動や就職課の取り組みをお知らせします。

外国語学部

外国語学部は、専門性の面から職種などが、固定されないことから、多くの学生は、「大企業に勤務したい」本学入学後もその気持ちで大学生活を過ごしてきたように思われます。春以降の合同説明会参加に於いても、大企業中心に臨んできた学生が多く、特に何かをやりたい意思だけでなく、大手の企業のみこだわって、エントリーを続けてきた学生が目立ちます。

社員数、企業組織の大きさ、安定志向などから、大企業のみ目を向けてきた学生に対し、厳しい就職状況を見て、実態を考慮した就職活動を求めています。未内定の学生は、なかなか内定を獲得出来ない現実を直視し、その後の就職活動について意識の変化が見られたようです。

就職課は、卒業時期まで、未内定の学生に対し、個人面接を重ね、学生の希望の変化などを常に把握し、新しい求人情報の提供、履歴書や個人面接・集団討議など学生自らが再確認する取り組みを進めてきました。最終的に、就職活動を通じて、自己を的確に理解を深めることによって、自分にとって、本当にやりがいのある企業を見つけ出すことが出来たことと思います。

健康栄養学科

一般職は、新卒者の求人状況が若干上向き、好転の兆しがみられるようになってきました。専門職の新卒の求人は、ここ数年、厳しさを増してきています。特に、病院施設では、経験者を求めています。

増設されてきている施設や保育園についても、その傾向が見られます。このことに加え、育児介護休業制度などの利用もあり、栄養士や管理栄養士の退職者が減少してきています。これらのことは、特に、都市部に見られ、札幌市などの希望者が多い本学学生にとっては、内定を取りづらいう状況にあります。

このような就職環境の中で、この三月卒業生にとっても、高い就職決定率に繋がった要因は、学生の就職意欲が高く、国家試験に向けて日々、学習に励む中で、着実に就職活動に取り組んできたからです。一人ひとりが、その都度、就職状況の現実に適切に対応し、いかに自己の希望を実現していくか常に、前向きな姿勢が見られました。

そして、4年間の食や栄養の学びを広く生かしたいことから一般の民間企業に挑戦した学生もいました。就職課の学生支援の基本方針は、個々の学生の就職希望を早期に把握しながら「働くこと・就業すること」への意識を高めていくことです。

そして、希望に合わせた就職情報の提供と選考試験に向けて、筆記試験などの学習に取り組むことを啓発してきました。その為に三年生から個人面談を実施し、アドバイザーの教員との連携を密にし、個々の学生の情報を共有し、継続的に、この取

り組みを進め、学生の就職活動を支援してきました。応募先の選択幅の広がりや新たな職種・就職先、より高いレベルアップの企業への挑戦意欲の高まりも含め、心配していた年度当初の就職不安状況を乗り越え、予想以上の好結果を挙げたことに安堵しているところです。

看護学科

看護学科の学生は一期生として、就職準備講座（四月二十四日、四月二十九日）、病院合同就職説明会を皮切りに実質的な就職活動に入りました。病院見学会やインターシップへの参加など、実習の間を活用しての動きとなりましたが、自ら積極的に情報を収集して就職活動に当たりました。

就職課では履歴書の添削指導は、もとより特に面接対策に重点を置いた支援を行いました。学科のアドバイザー教員との面談を通して早めに応募先を絞り込んで選考試験に臨んだことが、功を奏し、道内他大学に先駆け十一月中には就職希望者八十八名全員が内定を頂くことができました。大半の学生が道内外の大学病院や公立病院などの総合病院に就職し、その内、約2割の学生は希望領域でのキャリアアップを目指して、道外（関東圏）の病院への就職を決めました。

就職活動に当たっては、卒業生の先輩がいない為、情報が少なく、不安な面もあったと思われませんが、自らの努力でほとんどの学生が第一希望の医療機関に就職することができました。このことは後に続く後輩たちの道標となる本学看護学科の就職

活動の基礎を築いてくれたと思います。

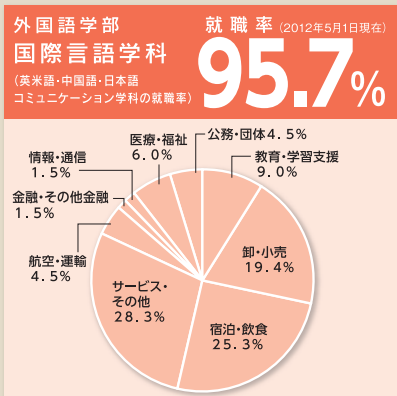
理学療法学科・作業療法学科

理学療法学科並びに作業療法学科の学生は、四年生の施設実習を終えてから本格的な就職活動に入りました。就職活動に専念できる期間が短いことから、事前にアドバイザー教員との相談を重ねて就職活動計画を作成し、効率的な活動に備えました。

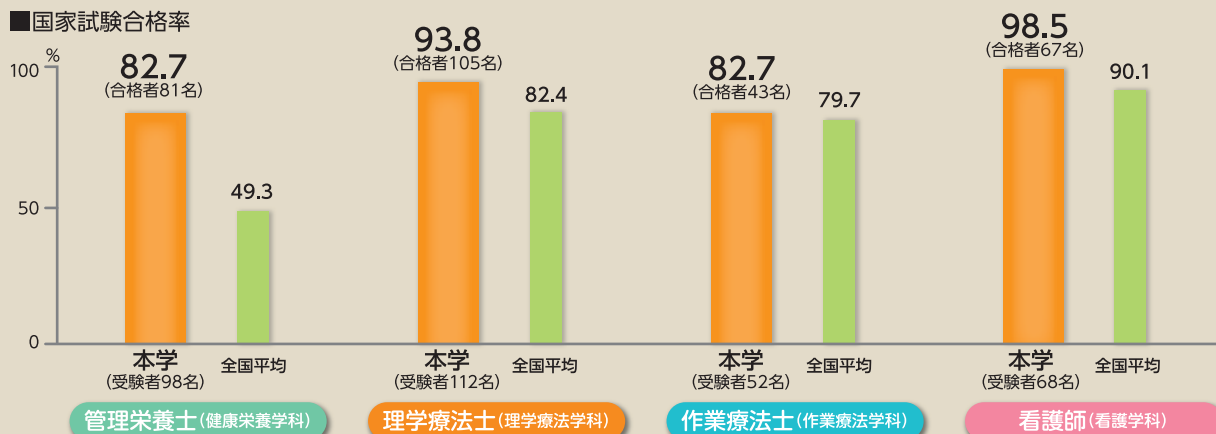
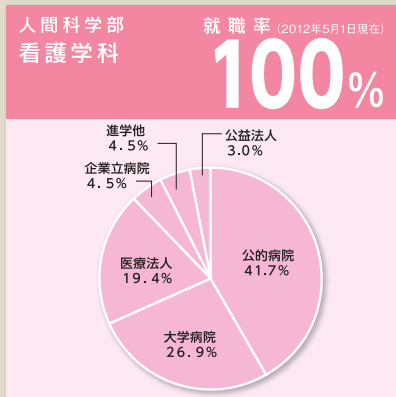
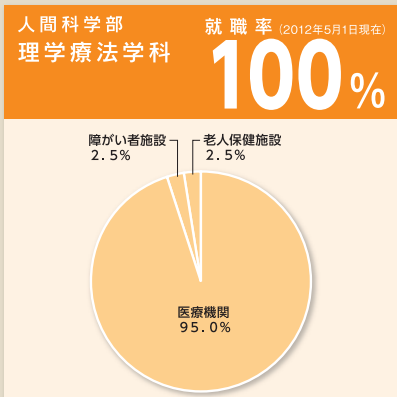
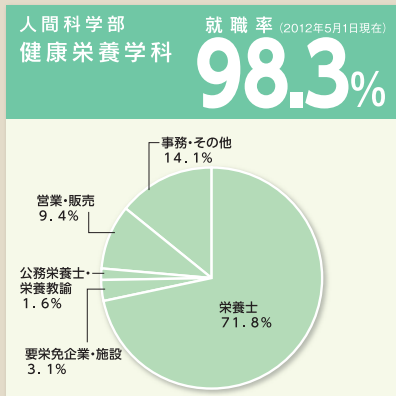
八月二十六日には、採用実績のある病院を中心に道内五十四箇所の病院・施設を招き、恒例となった学内での「PT・OT 合同就職説明会」を開催しました。毎年就職希望者の多くが、当説明会に参加している病院・施設に就職していることから、多くのブースを回って真剣な表情で病院関係者の説明に耳を傾け、中にはその場で病院見学の申し込みを行うなど、積極的な学生が多く見受けられました。

就職課では就職活動をサポートする為、学生との面談を通して、履歴書の作成指導や添削、面接対策、小論文対策などの支援に当たり、特に面接練習については本人が納得できるまで十分に時間を掛け、採用試験に備えました。

就職活動と並行して国家試験に備えるの学習も強いられる中、多忙を極める活動となりましたが、各学生が希望する分野での活躍を目指して、積極的に就職活動を行った結果、両学科共、年内に約8割の学生が、道内を中心とした第一希望の医療機関に内定し、最終的には就職希望者全員が内定を頂くことができました。



2012 北海道文教大学
就職データ
本学全体で
就職率圧倒の
98.9%!!





人間科学部 こども発達学科
教授
子育て教育地域支援センター長
(通称文教ペンギンルーム)
後藤 守

Q1 先生のご担当の講義科目について、お聞かせください。

A 「発達力」、横軸には「関係力」を組み入れて講義のフレームを作っています。1年生中心の「基礎ゼミナールⅠⅡ」、「知的障がい者の心理・生理・病理」、2年生中心の「特別支援教育総論」「教育相談Ⅰ」「基礎ゼミナールⅢ」、3年生中心の「こども学総合演習」「発達障がい等教育総論」が主な担当科目です。来年は第1期生が4年生になるので、「卒業研究」の指導という大仕事が待っています。

Q2 先生のご経歴をお聞かせください。

A 道南の熊石町出身です。今は、「金の卵」と言われた時代に中学校を卒業し、集団就職をして函館の朝市のかまぼこ屋に勤めていました。早朝からお昼までが仕事の時間なので、高校は夜間の定時に通いました。丁度、舟木夫さんが「高校3年生の歌を歌っていたころ」高校4年生でした。大学の振り出しは北海道学芸大学小学校教員養成課程です。卒業後は海の内、こっに見える奥尻島の小学校の先生になりたいというのが私の夢でした。

北海道大学大学院教育学研究科博士課程を経て、



写真 1. こども達を囲んでほっと一休みの
子育て学生ボランティアとお母さん

北海道教育大学札幌校の特別支援教育担当教授として、学生・院生の指導を20年間担当しました。さらに合わせて、附属札幌小中学校特別支援学級の教育・研究の助言指導を担当しました。それと並行して、札幌市保育部の事業の一環として企画された障害保育巡回指導専門員の仕事を担当し、札幌市全区の認定された障がいのある子どもの受け入れ園の全てを訪問して、対象幼児の行動観察及び保育支援の助言活動を保護者、園長、保育担当者として私の4者で継続的に進めた経験を持っています。この経験が期せずして、北海道文教大学の新しい取組の中で生かされることになりました。後半の10年間は、独立専攻「学校臨床心理専攻」の大学院専任教授として、主として現職教員を対象に、スクールカウンセラーの養成に従事しました。専門は乳幼児心理学から始まり特別支援教育を経て臨床心理学に突入り、現在、それらを包括する発達臨床心理学に足場をおいています。実は60歳の手習いではありませんが、丁度、前任校で、同僚の三上勝夫先生当時北海道教育大学副学長・現北海道文教大学でも発達学教授のお力をお借りして、大学院OP「現職教員の高度実践構想力開発プログラム」というとても大型の共同研究に参画する機会が

Q3 文教ペンギンルームについてお聞かせください。

文教ペンギンルームは、文科省に申請した「こども発達学科新設計画」の中の目玉(特色)の一つになっています。正式には、北海道文教大学子育て教育地域支援センターという名称ですが、全国ネットでは、文教ペンギンルームと通っています。ペンギンは子育ての名人というところがネーミングのポイントの一つになっています。

文教ペンギンルームは、3つの仕事に着手しています。その1は、子育てトライアングル「あいあい」があげられます。これは、文教ペンギンルームのスタッフ・子ども、お母さんの3者が一緒に取り組む「子育て協働チーム」による活動です。

文教ペンギンルームの2つ目は、「子育て支援学生ボランティアペンギン」の活動があげられます。ここでは、文教ペンギンルームをベースにした活動(学内型)と恵庭市の子育て支援センターと連携し、学生ボランティアが出席する活動(学外型)の2つのタイプがあげられます。写真1は、子どもやお母さんと一緒に活動する学生ボランティアによる学内型子育て支援活動の場面です。

文教ペンギンルームの3つ目は、講義と連動させたロールプレイ体験の場を提供しているところにあります。ここでは、子どもも役、指導者役にわかれて関係力育成プログラムの実地体験をします。写真2は、基礎ゼミの受講生たちが、ロールプレイを終えて、



写真 2. お土産の巻き笛をもらってほっと一息の基礎ゼミの学生達と筆者

Q4 最後に、今一番、関心を持たれていることについてお聞かせください。

A 今、最大の関心事は、学生の「授業評価力」についてです。学生のみなさんから、授業についての的確なフィードバックがあることは、講義担当者が授業の質を上げていくうえで極めて重要です。このことに関わって、現在、鈴木武夫教育開発センター長(学長)のもとで、3部門の部門長が永原和夫副センター長(図書館長)を中心に共同研究プロジェクト「多人数授業における学生の授業評価力の育成に関する教育情報学的研究」の立案に着手しております。この計画が実現すれば、北海道文教大学方式の「学生の学生による学生のための授業評価モデル」を学内にとどまらず、全国の大学に発信できることが期待できます。もちろん、その時は、再び、友人の三上勝夫教授(日本教育方法学会理事)の知恵をお借りする予定です。学生の皆さんも、ぜひ、学園生活を送るなかで、気の合う友人を見つけてください。私の場合、そのおかげで、40年もの長い間、様々な局面でこの貴重な友人に助けられています。

健康栄養学科

食育教室は学生にとっても食育の場

健康栄養学科が企画する食育教室は食育基本法が制定される前年の2004年に始まり、今年で9年目に入りました。今年度は5回開催されます。対象は、恵庭市の成長期のこどもと保護者さんで、調理体験型のスタイルにこだわり、達成感やドキドキ感を大切に実施されます。

スタート当初から、食育推進活動の学びの場として、3年生の学生ボランティアを募り、参加児童のサポートを体験してもらっています。学生は、成長期の食育推進にはどのように係わるのか、また、その伝え方やサポートの仕方を学びます。第1回は「お弁当を作ろう」、第2回は生産者団体、教育委員会と共催で、圃場体験、学生によるワークショップなどを入れた「えにわ大好き!食の体験ランド」、第3回は「えにわ通学合宿」の参加児童の食事作りをサポート、第4回は学校給食センターと共催で、「学校給食メニューに挑戦!」、第5回は幼児親子わくわくクッキングと多彩です。毎回、生産者団体のルーキーズタイムなどを通じて、生産者の思いも伝えていきます。連携団体と協働で開催することの重要性も学びます。

食育の魅力は係わった人全てが食育されることに気がついてくれると嬉しいですね。



理学療法学科

サハリンチーム学科講義・実習を体験



6月11日(月)、YOSAKOIソーラン・ロシア・サハリンチームの方々が本学学生会館前で華麗な演舞を披露してくださいました。その日の午後、チームの方々が理学療法学科の講義・実習を見学されていきました。

皆さんに参加していただいたのは3年生の「物理療法学実習」です。この科目の内容は、リハビリテーション治療の際に運動療法と平行して施行される温熱や電気を用いた治療について、実際に各機器を用いて学ぶものです。

見学ではそれらの治療についての説明のほか、数名の参加者にはいくつかの治療を体験もしていただきました。時折上がる大きな歓声とともに、学生たちにとっても普段以上に楽しい実習の時間となりました。

学科一同、また来年の見学をお待ちしています。

作業療法学科

障がい体験授業

新入学の1年生を対象とした作業療法概論Iの授業で、障がい体験講義を行いました。坪田貞子教授を中心に、作業療法学科のほぼ全部の教員が参加しました。

この授業は、入学後早期から、作業療法の対象となる代表的な障がいである片麻痺者、高齢者などの模擬的な体験をすることで、障がいをもつ人々の身体的・精神的影響と介助する側の人々の理解を深めることが目標です。

学生2名がペアとなり、模擬障がい者と模擬介助者を交替で体験してもらいました。模擬障がい者としての体験には、片麻痺、高齢者、視覚障がいの疑似体験セット装着に加えて、車いすも使用しました。学生には、トイレ(健常者用と障害者用)、洗面所、階段、エレベーター、売店、教室、玄関、屋外、などのポイントを通過してもらいました。そしてこれらの施設を実際に使用した上で感じた問題点や改善点をあげ、グループごとに討論・発表してもらいました。

「普段はなにげなく行っている動作が、全く違うことをやっているかのように大変に難しく感じた。」「周囲からジロジロ見られるのは体験であっても良くは感じなかった。」「他人に頼らないと行動ができなくなることにもどかしさを感じた。」「あたたかい言葉はとても嬉しかった。」などが、チェックシートに学生が記載したことの例です。

作業療法学科では、特に1年生に対して、病院や特別支援学校(養護学校)などの施設見学授業も取り入れています。障がい体験授業と同じように、教科書から学習するだけではなく現場での経験をすることによって、作業療法士として働く自分をイメージしモチベーションを高めることがねらいです。まさに「百聞は一見にしかず」です。



看護学科

新年度がはじまり

看護学科は平成24年3月に1期生が巣立ちました。1期生は北海道文教大学看護学科のパイオニアとして4年間の学生生活を乗り越え卒業しました。1期生は高度な知識・技術を修得するとともに、豊かな人間性を身につけて看護職へ就くことができました。また、看護師国家試験は合格率98.5%と全国平均90.1%を大きく上回る結果をだすことができました。

1期生につづくべく、2期生の現4年生は5月から領域実習が始まりました。看護研究を進めながら実習をし、国家試験の学習、就職活動と今までにない数多くの事柄をこなす忙しい年になります。

3年生は2年生最後に初めての臨地実習を終え、看護の実践について学ぶことができました。自分達が今まで学んだことを患者さんに援助することで、普段の学習の積み重ねがいかに大切かも理解することができました。3年生前期はより専門的な看護を学び、後期には領域別実習が始まります。2年生での経験を生かし、今まで以上に真剣な姿勢で学習に取り組んでいます。

2年生は専門的な看護の学習がはじまり、実技演習も始まりました。看護技術は講義時間だけでは技術がなかなか身に付かないため、時間外に自分達で演習を行う学生がほとんどです。患者さんのことを考え自分で思い描いた援助を行いたいのですが、思うようにできない学生が多く先生に熱心に質問や確認をしています。

1年生は新カリキュラムが始まり「総合教養講座」で看護の科学的思考の基盤をつくります。講義では基礎的な知識と態度を修得し、看護の対象者の生活を知り看護の役割を考え、そのうえで「看護とはなにか」を自分なりに思い、考えを表現し、伝える力、聞く力をつけます。1年生は初めてのグループワークに取り組み、戸惑いながらも自分の考えを発言し、グループ全員の意見を聞いて意見をまとめていきます。最後には「自分の看護」を発表します。

看護学科は今後も看護の発展に寄与できる豊かな人間性と幅広い教養、高度な専門性を身に付けた看護師を育成していきます。

■子ども発達学科

チャレンジ教室開催!!

子ども発達学科の多くの学生は、保育士及び幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、福祉施設等の指導員を、卒業後の職業として希望している。これらの職業は、子どもの知育・徳育・体育の3側面を育むとともに、保護者の方々の願いを受けつつ、奉仕の心情をもって対応しなければならない職業と言える。子ども発達学科では、学生に対してこの奉仕の心情を養うために、平成22年度より、恵庭市及び千歳市、北広島市に居住する障害のある子どもたちを、週1回、受け入れ、その子どもたちの行動等の偏りの改善に資するチャレンジ教室を開催している。

チャレンジ教室は、大学が授業期間として設定している期間に開催し、前期は鬼ごっこやボールを使った遊びなどのスポーツ活動、後期は親への感謝の心を作文するとともに心のこもったプレゼントを作成するコミュニケーション活動を行うボランティアとしての活動である。

今年度は、1年生45名、2年生13名、3年生10名、合計68名が参加している。

3年目の今年は、毎回の活動計画の企画と活動後の評価ミーティングの運営を、学生自らが計画的、主体的に行うところまで成長してきた。また、今年度のオープンキャンパスでは、チャレンジ教室を通して成長した障害のある子どもたちへの具体的な対応内容とその成果を整理・考察などとして、来学した高校生と保護者の皆様方に発表することとしている。

チャレンジ教室は、障害のある子どもたち「チャレンジ:挑戦者」を指し示す言葉から名づけた。本学創始者鶴岡トシ先生は、70年前、本学学生に未来を拓くチャレンジ精神を涵養するため、「清く正しく雄々しく進め」と建学の精神を示している。このことも踏まえ、チャレンジ教室は、学生自らの心を拓き、耕すため、自らの意思でチャレンジする大事なボランティア活動と位置付けてその活動を続けている。



■国際言語学科

「インターンシップ」プログラム始まる!

国際言語学科も開設3年目を迎え、今年の夏休みから目玉のカリキュラムのひとつである「インターンシップ」プログラムが始まります。一般には「インターンシップ」とカタカナで表記されますが、「就業体験」と漢字で書いた方が分かり易いかもしれません。

この「インターンシップ」プログラム。まだ一回も実施されていないにも係らず、学生からの人気で学科の予想を遥かに上回るものがあり、担当教員は受け入れ先企業や官公庁との折衝に忙殺されながらも嬉しい悲鳴をあげています。

6月10日現在、官公庁では、北海道庁、北海道立美術館、北海道立図書館、恵庭市役所、苫小牧市役所、室蘭市役所に、民間企業では、ANA新千歳空港株式会社、株式会社ザ・ウィンザーホテル洞爺リゾート&スパに学生を受け入れていただくことが決まっています。普段は物静かな学生が多い本学科の学生なのですが、こんなにも積極的な一面があることに驚いています。また、留学生の皆さんの積極性にも驚かされます。ウィンザーホテルでは、約1ヶ月間の長期インターンシップにも係らず、多くの留学生の皆さんが連日のように研究室を訪ねてくれて、熱心に情報収集に努めている様子を見てとそのバイタリティに頭が下がります。

働くことと真剣に向き合うことができる貴重なこの機会に、ひとりでも多くの学生に「インターンシップ」に参加し、良くも悪くも社会の洗礼を受けて来て欲しいと思います。働くことの厳しさを知っている学生は強いです。わずか数週間のプログラムに参加しただけで、精神的にも肉体的にも一回りも二回りも大きくなります。

「国際言語学科のウリ(売り)はインターンシップ!」

これから進学先を考えようとしている高校生の皆さんにそう言ってもらえるような素敵なプログラムに育てていければ…。担当教員のひとりとして思いを巡らせてはニヤニヤしております。

NEWS ■明清高等学校

サッカープログラム小学校のアシスタントティーチャーとして活躍!

今年、サッカープログラムの生徒達が、近隣の藤の沢小学校全校対象に体育サッカー授業の時間にアシスタントティーチャーとして協力することが決まりました。7月下旬から低学年・中学年・高学年の3学年に分けて、サッカー指導に当たることで準備を進めています。

普段のサッカープログラムの授業の中でもコーチング論などで子供達への指導方法などは学んでいますが、今年はそれにくわえて、JFL(日本サッカー協会)主催の低年齢の子供たち指導対象の指導者講習「キッズリーダー講習」を受けました。



NEWS ■附属幼稚園

走って健康に—附属幼稚園園児のランニング

「走るよ〜!!」「ふわいとーっ!」今年の附属幼稚園の園児のランニングが、6月1日から始まりました。北海道文教大学藤野キャンパスにある附属幼稚園の園庭から冒険広場を周回するランニングコースを、それぞれのペースで走ります。年長児は、5周、6周と距離を伸ばす子も見られるようになりました。走り方も様になっています。

「戸外で友達や先生と元気よく体を動かし、走る楽しさを知り健康な心と体を作ろう」と1周180メートルのランニングコースを作り、当園後の時間と降園前の時間にジョギング程度のランニングから取組んだのが昨年秋のこと。年少児は1周、年中児は2周、年長児は3周と無理なくすすめることにより、子どもたちの楽しみに結びついてくれることを願い、スタンプカードやフェルト製の☆も用意しました。スタンプが10たまると保育者手製の☆が体育帽に縫い着けられます。



これらの工夫を基にして昨年取り組み始めから、楽しそうにみんな一緒に走り出しました。日々を重ねるごとに走る楽しさが子どもたちの中に高まり、定着していきました。子どもたちのランニングに対する意欲がこれほどまでに高まり継続することを、実は保育者たちは予測していませんでした。子どもたちの内在する力を子どもたちに教えられた、「うれしい誤算」だったと言えます。雪が降っても走りたいというほどの盛り上がり、ご家庭のみならず温かい支援の言葉が多く寄せられました。

今年は、スタンプに関係なく意欲的な姿を見せる子も多く、ランニングの魅力はこれまで以上に園児たちの間に浸透していきそうです。園児たちのマラソン大会が見たいとの声も聞かれます。附属幼稚園全体で日常的に体を動かす楽しさをさらに定着させ、みんなできらに健康になっていきたいと思います。



北海道文教大学後援会活動の執行指針について

北海道文教大学後援会会長 遠山 英行

会員の皆様には、日頃より後援会活動に対しまして深いご理解とご協力をいただいておりますことを心より厚くお礼申し上げます。後援会は、建学精神に則り、会員の皆様相互のご協力によって大学を後援し、その発展充実に寄与することを目的として様々な事業活動を皆様からお預かりした後援会費を原資として展開しております。個々の事業内容につきましては、後日、発行予定の後援会会報で述べさせていただきますので、ここでは後援会活動の執行に関する考え方を記したいと思っております。

まず、課題であった執行体制については、今年度より正会員のみで三役(会長・副会長・監査)を構成する組織にすることができました。困難な状況にありながら、卒業生のご父母という立場で後援会活動の先頭に立たれて協力していただき、今日の組織に繋いでいただいた賛助会員の皆様にはあらためて感謝申し上げる次第です。

毎年、執行体制づくりにも苦慮していることから、今年度から後援会役員選出に関するアンケート調査を実施させていただきました。一年生のご父母の皆様にご協力いただき、一定程度の成果をあげることができました。

後援会により深く関心を持っていただくためにも、来年度も実施する予定でいます。

各学科3名の理事選出を終え、新年度の執行体制が整いました。後援会事業の執行に関する業務をできるだけ各理事へ分担していき、全員参加型の体制へ移行しながら積極的な提言を引出し、後援会組織の活性化を目指していきたいと思っております。

24年度の事業内容は、項目的には前年度と差異はありませんが、一つ一つの事業の中身を強化すべく、ワーキングや役員会で検討していく予定でいます。

後援会の在り方としての基本スタンスは、いかに学生に有意義なキャンパスライフを送っていただけるか、そのことを通して大学の発展・充実に寄与できるかということだと考えております。今後とも大学とさき細かく連携しながら、また会員の皆様の声を吸収しながら後援会活動を進めて参りたいと思っております。積極的にご参加、ご理解、ご協力いただきますよう伏してお願ひ申し上げます。

役員改選

本学園役員等の人事について5月29日開催の理事会、評議員会にて選任されたのでお知らせいたします。

[平成24年6月1日付選任]

理事長/評議員 鈴木 武夫

理事/評議員 浅見 晴江(常務理事)、伊藤 雅夫
荻根澤 則文、北崎 迪子
近藤 文衛、水上 寛

監事 浅川 修二、鈴木 豊

評議員 池田 啓子、神谷 忠孝、小向 朝子
斉藤 道子、佐藤 信雄、柄崎 雅子
中村 至、山本 淑子、渡部 俊弘

人事

退職 [平成24年3月31日付]

事務局

和泉 勝昭(事務局 参事)
稲川 憲(学務部 学生主幹)
白田 俊輔(入試広報部 入試広報課員)
原 秀幸(就職課 就職主幹)

北海道文教大学 外国語学部

荒井 真一(国際言語学科 講師)

北海道文教大学 人間科学部

豊田 修次(健康栄養学科 教授)
真嶋 光雄(健康栄養学科 教授)
樫野 いく子(健康栄養学科 助手)
小塚 美由記(健康栄養学科 助手)
諸橋 京美(健康栄養学科 助手)
鈴木 恵(健康栄養学科 実習補助員)
宮本 重範(理学療法学科 教授)
若林 淳一(理学療法学科 教授)
北島 久恵(作業療法学科 講師)

中村 充雄(作業療法学科 助教)
泉澤 真紀(看護学科 准教授)
早坂 寿美(看護学科 助教)
前垣 綾子(看護学科 助教)
矢野 麗子(看護学科 助教)
川合 美奈(看護学科 助手)
鎌田 哲宏(こども発達学科 教授)
堀内 拘夫(こども発達学科 教授)

北海道文教大学 明清高等学校

岩村 健士(教諭)
鈴木 舞(教諭)
斎藤 信一(教諭)
高崎 裕治(教諭)
辻 宏光(教諭)

採用 [平成24年4月1日付発令]

事務局

木村 清二(総務部 総務主幹)
渡部 恵(総務部 会計係員)(4/16付)
高橋 哲雄(管財課 ボイラー-技士兼用務員)
大島 智恵子(管財課 清掃員)

北館 みどり(管財課 清掃員)(4/9付)
栗原 智(総務部 企画評価室 主幹(総務課兼務))
渡邊 久米雄(就職部 就職主幹)

北海道文教大学 外国語学部

矢部 玲子(国際言語学科 講師)

北海道文教大学 人間科学部

大山 徹(健康栄養学科 教授)
岡部 晋彦(健康栄養学科 准教授)
岩山 直未(健康栄養学科 助手)
葛西 里華子(健康栄養学科 助手)
森 樹沙(健康栄養学科 助手)
金子 翔拓(作業療法学科 講師)
吉田 一生(作業療法学科 助教)
佐藤 登代子(看護学科 教授)
田原 美香(看護学科 講師)
井上 大樹(こども発達学科 講師)

北海道文教大学 明清高等学校

岡部 洋輔(教諭)
清野 訓靖(教諭)
山田 悠司(教諭)

昇任 [平成24年4月1日付発令]

北海道文教大学 人間科学部

工藤 恭子(こども発達学科 講師)

北海道文教大学 附属幼稚園

佐藤 榮造(副園長)

再雇用 [平成24年4月1日付発令]

北海道文教大学 人間科学部

宮本 重範(理学療法学科 教授)
若林 淳一(理学療法学科 教授)
堀内 拘夫(こども発達学科 教授)

北海道文教大学 明清高等学校

高崎 裕治(教諭)

異動 [平成24年4月1日付発令]

事務局

大友 伸一(学務部 学生主幹)
北海道文教大学 人間科学部
太田垣 恵(健康栄養学科 助手)
竹内 奈生美(管理栄養士国家試験対策室 事務員)

平成23年度 鶴岡学園事業報告

I 法人の概要

(平成23年5月1日現在 学校法人基礎調査抜粋)

(A)設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生数の状況

(単位:人)

学校名	学部・学科・課程名等	入学定員	現員	
北海道文教大学	大学院 グローバルコミュニケーション研究科 中国語コミュニケーション専攻	5	10	
	外国語学部	100	412	
	国際言語学科		194	
	英米語コミュニケーション学科		60	
	中国語コミュニケーション学科	募集停止	35	
	日本語コミュニケーション学科		123	
	留学生別科	募集停止		
	人間科学部		430	1,738
	健康栄養学科		150	606
	理学療法学科		80	400
作業療法学科		40	205	
看護学科		80	366	
こども発達学科		80	161	
北海道文教大学短期大学部	幼児保育学科	募集停止	募集停止	
北海道文教大学明清高等学校	普通科 食物科	120 40	311	
北海道文教大学附属幼稚園		80 (総定員)	76	
総計		750 (幼稚園定員含)	2,547	

(B)役員・教職員の概要

1.役員(平成24年5月1日現在)

【理事長】 鈴木 武夫
【理事】 伊藤 雅夫 近藤 文衛 北崎 迪子 浅見 晴江 水上 寛
【監事】 浅川 修二 鈴木 豊

2.教職員(人件費割拠抜粋)

(単位:人)

	専任				非常勤			
	大学	高校	幼稚園	計	大学	高校	幼稚園	計
教員	123	27	5	155	101	10	2	113
職員	49	4	1	54	15	3	0	18

II 事業の概要

(A)当該年度の事業の概要・計画・進捗状況

*平成23年予算編成方針に基づき、次のことを実施した。

1. 教育研究体制について

少子化の進行に伴い、私学の運営は益々厳しさを増しているが、実学重視の特色ある教育の基本方針を踏まえ、平成22年度に外国語学部「国際言語学科」、人間科学部「こども発達学科」を設置し、教学組織の拡充を図った。
管理栄養士の国家試験対策室を設置し、合格者数・合格率を向上させるため学科全体で取り組む体制を構築した。

2. 財政確保について

(1)北海道文教大学(大学院を含む)

- 1)外国語学部を「国際言語学科」1学科(入学定員100名)に改組設置して2年目を迎える学生募集に力を注ぎ、その結果本年度入学生は107名で入学定員を上回った。
- 2)人間科学部に入学定員80名のこども発達学科を設置して2年目を迎え積極的に学生募集を図り、その結果本年度入学生は95名で入学定員を上回った。
- 3)今年度も科学研究費補助金に個人応募し、2名が採択された。また、研究分担者は2名で研究費を配分された。

(2)北海道文教大学短期大学部

平成22年4月に短期大学部幼児保育学科を改組し、4年制のこども発達学科を設置したことにより、短期大学部は平成23年10月17日付けで廃止された。

(3)北海道文教大学明清高等学校

全道的な中学生の減少するなか、札幌南区は人口流失の傾向も止まらず、卒業生の減少も著しいものがあり、本校はそうした現状を踏まえ、平成23年4月に生徒の入学定員を普通科160名から120名、食物科50名を40名に40名に自身減を行った。
さらに高大連携を強化し、教育内容の充実を計り、普通科に「看護医療進学」・「探究進学」・「こども福祉」・「サッカー」の4つのプログラム学習の形に改定し、「食物科」に「調理」・「製菓」のプログラムを加え、積極的な生徒の定員確保に努めた結果、本年度の入学生は106名で入学定員を確保するに至らなかった。

(4)北海道文教大学附属幼稚園

昨年度から園児の送迎範囲を拡大したので、その効果を高めるために平成22年度も特色ある園児募集のPRに工夫を加え、継続して新入園児の確保に努め諸納金の増加を図った結果定員80名のところ園児は74名となった。

3. 支出について

(1)人件費

本学園は、平成21年度の人件費比率(対附属収入)は53.7%と前年度(56.6%)より低下し、平成22年は作業療法学科、看護学科で学生が144名純増及びこども発達学科も短大との差引きはあるが若干の増加があり、学生数の増加を要因として人件費比率は51.4%とさらに低下した。
平成23年度は国際言語学科1名・看護学科8名・健康栄養学科5名・理学療法学科4名・作業療法学科2名を採用し、退職者は14名で教職員の適正配置を図った結果、前年度より教員の出入りが多く教育職員が増えている中、看護学科・こども発達学科で183名学生の純増があり人件費比率49.6%に低下した。
学科の設置で教育職員が増え、相対的に入学生も純増している状況の中、平成23年度に人件費比率(対附属収入)は50%以内になり、今後も継続するように努める。

(2)一般経費

本学園の予算は予算要求・配当部門である北海道文教大学外国語学部、北海道文教大学人間科学部、北海道文教大学明清高等学校、北海道文教大学附属幼稚園及び事務局から予算の要求があり、その後アラインングを経て配当される。配当された経費の使用については、効率的に費用対効果を考慮し必要最小限度に留め、さらに経費の節約に努めた。さらに収入・支出を考慮し、原則として部門別の独立採算制を会計上模倣し、収支のバランスシートを共通認識し改善に努める。

(3)特別・企画事業

1)北海道文教大学8号館(仮称)建設工事は下記のとおりである。

(新規事業)

- ①工 事 名: 北海道文教大学8号館(仮称)
- ②着 工 年 月: 平成23年6月2日
- ③設 置 場 所: 恵庭キャンパス
- ④構 造・面 積: RC造5階建て・延べ面積 3,273㎡
- ⑤竣 工 年 月 日: 平成24年2月16日

2)北海道文教大学サークル会館(仮称)建設工事は下記のとおりである。(新規事業)

- ①工 事 名: 北海道文教大学サークル会館(仮称)
- ②着 工 年 月: 平成23年2月18日
- ③設 置 場 所: 恵庭キャンパス
- ④構 造・面 積: 軽量鉄骨造2階建て・延べ面積460.92㎡
- ⑤竣 工 年 月 日: 平成23年6月15日

3)北海道文教大学8号館(仮称)機器設備事業

- ①学生ラウンジ・一般教室・多目的教室等の機器備品の整備
- ②納入月日:平成24年3月23日

4)学校法人鶴岡学園創立70周年記念行事 (新規事業)

挙行日は下記の予定であり、平成23年度下半期頃から準備を始める。

- ①記念行事及び記念式典
- ②挙行年月日:平成24年6月8日(金)

5)札幌キャンパス環境整備事業(新規事業)

- ①第2学生寮の解体・給水圧ポンプ設備の設置、トイレの設備等
- ②平成23年度から平成24年度の2カ年計画で実施

6)図書館移設書架増設整備事業(新規事業)

- ①移動書架増設関係
- ②平成23年度から平成25年度の3カ年計画で実施

7)恵庭キャンパス環境整備事業(継続事業)

学園の環境整備の一環として、大学正門の門扉及び塀等の設置予定(継続)

- ①正門改修: 着工:平成23年9月7日
竣工:平成23年10月31日
- ②正門から図書館の間道路幅幅・歩道改修及び本館前の道路幅幅工事
着工:平成23年9月6日
竣工:平成23年9月21日

8)札幌キャンパス配管整備事業(継続事業)

- ①札幌キャンパスの配管整備:平成21年度から平成23年度の3カ年計画で実施

(4)一般企画事業

- 1)LL・CL教室の改修(3年計画:平成23年~25年)
LL教室をCL4に改修しCL1及びCL2教室の機器の更新及びプリンター入替

2)公開講座・子育て支援・食育支援(継続事業)

地域の住民に対する、大学の社会貢献への取り組み及び地域活性化支援のため実施するものであり、内容は下記のとおりである。

- ①北海道文教大学:近隣地域住民を対象に公開講座
- ②北海道文教大学:近隣地域住民を対象に子育て支援事業及び食育支援事業
- ③明清高等学校:近隣地域住民を対象に公開講座

(B)各部署で具体的な事業として次ぎのことを実施した。

事務局(法人)

- (1)北海道文教大学短期大学部の廃止に伴う申請業務
- (2)北海道文教大学短期大学部附属幼稚園の名称変更に伴う届け出業務
- (3)学校法人鶴岡学園寄附行為の改正

- 1)北海道文教大学短期大学部附属幼稚園の名称変更に伴う改正
- 2)北海道文教大学短期大学部の廃止に伴う改正

(4)学生確保・就職支援及び学生支援に関する事業

- 1)学生募集に伴う地方駐在員の配置
平成23年度も文教大学の学生確保につながる為、旭川、北見、帯広の3カ所に委託駐在員を配置した。各地域にある高等学校

を巡回し、本学の設置位置・環境、設置学部・学科、教育研究、取得可能な資格、学生生活等現状を説明しPRに努め、特に高等学校の進学担当者とのコミュニケーションを深め、学生募集を図った。
2)文教大学オープンキャンパスの実施及びテレビ・新聞・各種受検雑誌・公共交通機関等を媒体としたPRを実施した。
3)文教大学の父母懇談会を実施した。
4)文教大学及び短期大学部学生の就職支援活動・就職セミナーを実施した。
5)文教広報誌26号を発行した。
6)海外協定校等交流促進センターの設置及び留学生海外拠点事務所を「広東外国語対外貿易大学南国商学院」・「韓中学院」・「吉林財経大学」の3カ所に設置し、留学生の確保に努めた。

(5)北海道文教大学及び大学院の自己点検・評価

本学は平成22年度に第2回認証評価を受け、大学基準協会の大学基準に適合しているものと認められ、平成23年4月より平成30年3月末日までの期間とされた。これを踏まえ毎年学部・学科で組織等の点検・評価を推進することに務める。

(6)鶴岡学園及び北海道文教大学等の諸規程の制定及び改正

- 1)諸規程の制定
①北海道文教大学鈴木武夫奨学金規程
②北海道文教大学藤野奨学金規程
③北海道文教大学篤志奨学金規程
④学校法人鶴岡学園安全衛生管理規程
⑤学校法人鶴岡学園教職員の研究及び調査等による海外派遣規程
- 2)諸規程の一部改正
①学校法人鶴岡学園寄附行為
②学校法人鶴岡学園冠奨学金規程
③学校法人鶴岡学園組織規程
④学校法人鶴岡学園事務分掌規程
⑤学校法人鶴岡学園職員給与規程
⑥学校法人鶴岡学園物品等管理規程
⑦学校法人鶴岡学園嘱託職員・臨時職員就業細則
⑧学校法人鶴岡学園契約規程
⑨学校法人鶴岡学園物品等管理規程
⑩学校法人鶴岡学園防災規程
⑪学校法人鶴岡学園「文教広報」編集委員会規程
⑫北海道文教大学学則
⑬北海道文教大学明清高等学校学則
⑭北海道文教大学附属幼稚園園則
⑮北海道文教大学大学院学費減免に関する申合せ

(7)平成23年度以降に向けての当面の課題

- 1)平成23年度の最重要課題として管理栄養士国家試験対策室を設け、対策を推進し一定の効果を待たす。
- 2)公的機関である大学は、社会に対して情報を提供することが問われており、平成23年度から教育情報の公開に努め、ホームページで公開した。
- 3)人間科学部に留学生の受け入れ可能性の可否の事前調査として、本学で修得した知識・資格が母国でどのように活用できるか調査した。
- 4)教職員の海外研修制度を創設し、能力の向上を図る。

Ⅲ 財務の概要

平成23年度の財務概況報告

(1) 資金収支計算書(法人総括)

(単位:千円)

(単位:千円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,737,191	2,746,676	△9,485
手数料収入	48,835	53,618	△4,783
寄付金収入	51,000	67,252	△16,252
補助金収入	372,178	378,388	△6,210
資産運用収入	6,722	5,969	753
資産売却収入	0	23	△23
事業収入	3,318	7,053	△3,735
雑収入	87,244	98,609	△11,365
前受金収入	575,957	637,716	△61,759
その他の収入	409,842	403,469	6,373
資金収入調整勘定	△658,722	△704,666	45,944
当年度収入の部合計	3,633,565	3,694,107	△60,542
前年度繰越支払資金	2,920,120	2,920,120	0
収入の部合計	6,553,685	6,614,227	△60,542

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,613,383	1,622,699	△9,316
教育研究経費支出	609,769	639,107	△29,338
管理経費支出	219,408	235,418	△16,010
施設関係支出	622,052	609,614	12,438
設備関係支出	107,274	96,047	11,227
資産運用支出	100,000	100,000	0
その他の支出	57,305	61,564	△4,259
資金支出調整勘定	△31,551	△145,019	113,468
当年度資金支出合計	3,297,640	3,219,430	78,210
次年度繰越支払資金	3,256,045	3,394,797	△138,752
支出の部合計	6,553,685	6,614,227	△60,542

資金収支計算書の概要

平成23年度決算における収入の部では、学生生徒等納付金収入27億4,667万6千円、補助金収入3億7,838万7千円、前受金収入6億3,771万6千円などがあり、これに前年度から繰越した支払資金29億201万9千円を加え、収入の部合計は66億1,422万7千円となりました。

支出の部では、人件費支出16億2,269万8千円、教育研究経費支出6億3,910万7千円、資産運用支出(第2号基本金積立)1億円などの支出により、合計32億1,943万となり、平成24年度の支払資金として33億9,479万6千円を繰り越すこととなりました。

(2) 消費収支計算書(法人総括)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

消費収入の部				消費支出の部				収支差額			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	2,737,191	2,746,676	△9,485	人件費	1,667,628	1,666,832	796	帰属収支差額	505,500	493,860	11,640
手数料	48,835	53,618	△4,783	(退職給与引当繰入額)	(68,400)	(74,481)	(△6,081)	当年度消費収入超過額	276,574	1,201	
寄付金	59,150	71,114	△11,964	教育研究経費	881,587	904,421	△22,834	前年度繰越消費支出超過額	1,479,630	1,479,630	
補助金	372,178	378,388	△6,210	(内減価償却額)	(271,818)	(264,960)	(6,858)	基本金取崩額	0	73,310	△73,310
資産運用収入	6,722	5,969	753	管理経費	246,923	275,859	△28,936	翌年度繰越消費支出超過額	1,203,056	1,405,119	
資産売却差額	0	23	△23	(内減価償却額)	(27,515)	(40,440)	(△12,925)				
事業収入	3,318	7,053	△3,735	資産処分差額	9,000	12,006	△3,006				
雑収入	87,244	98,609	△11,365	徴収不能額	0	2,739	△2,739				
帰属収入合計	3,314,638	3,361,450	△46,812	徴収不能引当金繰入額	4,000	5,733	△1,733				
基本金組入額合計	△228,926	△492,659	263,733	予備費	20,000		20,000				
消費収入の部合計	3,085,712	2,868,791	216,921	消費支出の部合計	2,809,138	2,867,590	△58,452				

消費収支決算の概要

平成23年度決算における帰属収支差額は4億9,386万円となり、帰属収支差額比率は14.7%となりました。また、帰属収支の均衡状態を示す当年度消費収入超過額は、消費収入の部28億6,879万1千円と消費支出の部28億6,759万円の差額で表され、120万円の収入超過となりました。

(3) 貸借対照表

資産の部				
科目	平成23年度末	平成22年度末	増	減
固定資産	7,757,508	7,566,014	191,494	
有形固定資産	6,793,586	6,403,639	389,947	
その他の固定資産	963,923	1,162,375	△198,452	
流動資産	3,500,681	3,031,616	469,065	
合計	11,258,190	10,597,630	660,560	

科目	平成23年度末	平成22年度末	増	減
正味財産	10,021,988	9,528,127	493,861	
正味試算＝資産－負債(＝基本金＋消費収支差額)				

科目	平成23年度末	平成22年度末	増	減
減価償却累計額	4,342,702	4,127,388	215,314	
基本金未組入額	49,635	49,908	△273	

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部				
科目	平成23年度末	平成22年度末	増	減
固定負債	420,491	377,234	43,257	
流動負債	815,711	692,269	123,442	
計	1,236,202	1,069,503	166,699	
基本金	11,427,107	11,007,757	419,350	
消費収支差額	△1,405,119	△1,479,630	74,511	
合計	11,258,190	10,597,630	660,560	

貸借対照表の概要

平成23年度の資産の部合計は112億5,818万9千円、負債の部合計は12億3,620万2千円、資産から負債を差し引いた正味財産は100億2,198万7千円となり、前年度と比較して4億9,386万1千円の純増となりました。

OPEN CAMPUS 2012

君が来るのを
待っています。



第1回 6/23(土) 10:00~14:30

第2回 7/28(土) 11:00~15:30

第3回 9/22(祝) 10:00~14:30

内容 学科紹介、体験講義、キャンパスツアー、
学食体験、個別相談コーナー他

「保護者説明会」
同時開催

高校1、2年生対象「春のオープンキャンパス」
2013年 3/26(火) 10:00~14:00

参加高校生にもれなく「JRオレンジカード」「大学オリジナルグッズ」プレゼント

文教模試2012with大学祭

10/6(土) 10:00~13:30

国際言語学科主催「サクセス国語」「サクセス英語」
・高校3年生対象 ・参加無料 ・事前申込制

「受験生応援プログラム」

推薦入試直前講座

10/13(土) 10:00~12:30

夢を叶えるヒントを見つけに行こう!
～面接・小論文対策～

一般入試対策講座

11/17(土) 10:00~12:00

文教大の攻略法を見つけよう!
～先生による受験科目の傾向と対策をアドバイス～
(国語・英語・数学・物理・生物・化学)

【体験講義・実習体験テーマ】

学科	6/23(土)	7/28(土)	9/22(土)	2013年3/26(土)
国際言語学科	『頭の体操-発音のナゾに迫ろう-』 『口の体操-発音のコツを掴もう-』	『Learning Natural English Thru Drama』 『ソコから見た日本人のコミュニケーション』	『中国語って?』 『ことばの音のふしぎ』	『Asking for and Giving Directions』
健康栄養学科	『アクティブライフを支える健康ミニ情報』 『“食べる力”について』	『口腔の健康と全身疾患』 『飲み込むことに焦点をあてた体験学習』 『栄養アセスメント-身長・体重から判定してみよう-』 『食品添加物を検出してみよう』 『あなたの味覚は大丈夫ですか?』	『エネルギーと食べ物』 『食物アレルギーAtoZ』	『知っているようで知らない』 栄養士・管理栄養士の仕事』
理学療法学科	『姿勢について{その①}』 ～運動学的視点から～	『姿勢について{その②}』 ～姿勢のコントロールと筋活動～	『姿勢について{その③}』 ～注意とバランス～	『姿勢について{その④}』 ～姿勢と脳・リアルって何?～
作業療法学科	『障がいをもつ方のところに寄り添う作業療法』 『触れるということ』	『作業療法の魅力・創造すること』 『やってみよう!作業療法の評価』	『地域で暮らす～なじみの町で～』 『遊びから仕事へ』	『作業療法って何?家事の中の作業療法を体験してみよう』
看護学科	『子どもを知ろう!』 『身体の中をみてみよう』 『妊婦体験と赤ちゃんのお世話』	『消化管の不思議』 『子どもの看護技術』 『レクリエーションから考える高齢者の特徴』	『心の発達と対人関係』 『妊婦体験と新生児の観察・看護』 『社会生活技能訓練(Social Skills Training:SST)を学ぶ』	『手のひらに住む細菌たち』 実習室の見学』
こども発達学科	『母の日のプレゼント作りを考える』	『音の重なり』	『こどもの保健～赤ちゃんの「抱っこ」とバイタルサインの測定～』	『もし、学校に通えずに社会に出たら…(夜間中学の意義)』

〔参加申し込み方法〕 ☎0120-240-552、または大学ホームページ

北海道文教大学2012年進学相談会・高校内進路ガイダンススケジュール

北海道地区

●石狩管内

地区	開催日時	会場
札幌北	6/26(火) 13:00~17:00	ガトーキングダム
札幌	6/29(金) 13:20~15:10	北海高校
札幌	7/16(月・祝) 13:30~17:00	札幌ファクトリーホール
札幌	8/24(金) 15:00~18:00	札幌パークホテル
新札幌	9/13(木) 15:00~18:00	シェラトンホテル札幌
札幌	11/16(金) 15:00~18:00	札幌パークホテル
新札幌	11/20(火) 15:00~18:00	シェラトンホテル札幌
札幌	12/10(月) 15:00~18:00	札幌グランドホテル

●渡島・檜山管内

地区	開催日時	会場
函館	8/23(木) 15:00~18:00	ベルクラシック函館
函館	11/8(木) 15:00~18:00	ベルクラシック函館

●後志管内

地区	開催日時	会場
小樽	9/18(火) 15:00~18:00	グランドパーク小樽

●上川管内

地区	開催日時	会場
旭川	6/28(木) 10:50~12:40	旭川大学高校
旭川	8/30(木) 15:00~18:00	ロワジュールホテル旭川
旭川	11/12(月) 15:00~18:00	ロワジュールホテル旭川

●網走管内

地区	開催日時	会場
北見	8/29(水) 15:00~18:00	ホテルベルクラシック北見
北見	11/13(火) 15:00~18:00	ホテルベルクラシック北見

●胆振・日高管内

地区	開催日時	会場
苫小牧	7/13(金) 15:00~18:00	苫小牧ワイルドパークサンシャイン
室蘭	9/11(火) 15:00~18:00	蓬峽殿
苫小牧	9/12(水) 15:00~18:00	グランドホテルニュー王子
苫小牧	11/19(月) 15:00~18:00	グランドホテルニュー王子

●十勝管内

地区	開催日時	会場
帯広	7/19(木) 未定	帯広北高校
帯広	8/27(月) 15:00~18:00	ホテル日航ノースランド帯広
帯広	11/15(木) 15:00~18:00	ホテル日航ノースランド帯広

●釧路管内

地区	開催日時	会場
釧路	8/28(火) 15:00~18:00	釧路市観光国際交流センター
釧路	11/14(水) 15:00~18:00	釧路市観光国際交流センター

東北地区

地区	開催日時	会場
盛岡	8/29(水) 15:30~18:30	ホテルメトロポリタン盛岡
秋田	8/30(木) 15:30~18:30	アルヴェ
青森	9/3(月) 15:30~18:30	青森国際ホテル
八戸	9/4(火) 15:30~18:30	八戸プラザアーバンホール
仙台	9/10(月) 15:30~18:30	ホテルメトロポリタン仙台
山形	9/11(火) 15:30~18:30	ホテルメトロポリタン山形

上記日程・会場・開催時間は予定ですので詳しくはお問い合わせください。